

京都市立小学校において使用する教科書一覧
(使用年度：27 年度～30 年度)

教科	種目	採択教科書（発行者）	採択した主な理由
国語	国語	「こくご」 「国語」 （光村図書出版）	○ 学ぶ手順が分かりやすく説明されるとともに、学習事項も明確に示されており、基礎学力の定着を図りやすくしている。また、各単元に学習のめあてに対応した振り返りがあり、児童自身が学習内容を自己評価できるようになっている。 ○ コミュニケーションの取り方や手紙の書き方等を児童が実生活に生かせるように提示している。 ○ 「この本、読もう」で多くの図書が紹介され、読書との関連が図られていることで、読書生活につなげやすくなっている。
	書写	「しょうがく しょしゃ」 「小学 しょしゃ」 「小学 書写」 （教育出版）	○ 毛筆教材文字を硬筆で書き込む欄を設け、基礎・基本をおさえて確実に書く力が身に付くようにしている。 ○ 穂先の向きや通り道が明確となるように、朱墨と薄墨を使って説明し、筆遣いを分かりやすく示すとともに、「ここが大切」でポイントを押さえた解説があり、より理解しやすくしている。 ○ 見開き 2 ページを使って、学習内容を構成しているので、学習の見通しをもちやすい。また、学習の進め方が明示されており、自己評価をしやすくしている。
社会	社会	「新編 新しい社会」 （東京書籍）	○ 問題解決的な学習の過程を「つかむ、調べる、まとめる、いかす」とし、各ページがどの過程にあるかを分かりやすく表記している。 ○ 大切な言葉の説明がたくさんあり、「まなび方コーナー」など学習のヒントとなるものも多く書かれており、自分で学習が進められるとともに基礎的・基本的な知識・技能が身に付くようにしている。 ○ まとめでの表現活動では、ノートや地図、表など様々な表現方法の例が示されており、興味をもつとともに内容の定着も図れ、授業のイメージももちやすくしている。
	地図	「楽しく学ぶ 小学生 の地図帳 4・5・6 年」 （帝国書院）	○ 地方図のページにも、写真やイラスト、鳥瞰図など様々な方法で豊富な資料が掲載されており、その場所や地図に対する興味が持ちやすい。 ○ 人物キャラクターの吹き出しを使って地図への気付きを説明したり、様々なコーナーで地図を見るとき視点を広げたりしながら親しみをもって地図に向かえるようにしている。 ○ 地図帳の使い方、「地図のなりたちとよくそくごと」を示すことで、初めて地図を使う子どもたちが日常的に自分で地図に親しめるようにしている。

資料 4

教科	種目	採択教科書（発行者）	採択した主な理由
算数	算数	「わくわく さんすう」 「わくわく 算数」 （新興出版社啓林館）	○ 解決に至る過程や考え方を説明する活動、根拠を話し合う活動などが系統的に扱われており、児童が考える力、説明する力を身に付けやすくしている。 ○ 実生活や他教科に生かす場面や、実際に探したり、行ったりする活動が多く設定されており、児童が主体的に考えたり、算数のよさや有用性に気付いたりできるようにしている。 ○ 身に付けた基礎的・基本的な知識や技能を活用する力を育むだけでなく、活用することで基礎的・基本的な知識や技能の定着を図ることができる。
理科	理科	「新版 たのしい理科」 （大日本図書）	○ 生き物と環境の関係など、環境に関わる内容を数多く記載され、分かりやすく示されている。 ○ 補足や発展的な資料のほか、生活との関連、歴史などの読み物資料を通して、理科に対する興味を深めることができる。 ○ 薬品の扱い方と実験の注意が学年に応じて記載されている。
生活	生活	「せいかつ」 （光村図書出版）	○ 児童の「思いや願い」を大切にし、児童の膨らんだ「思い」から活動に入る構成になっている。全ての単元が「ホップ・ステップ・ジャンプ」という活動の段階で示されており、児童の思考が促される。 ○ 伝え合う活動が全単元に位置付けられている。発表会や報告会という大きなイベントだけでなく、ペアやグループでの伝え合う姿や吹き出しなど、体験と表現を繰り返すように設定されている。 ○ 表現活動そのものに必然性があり、児童が意欲を持って考えられるため気付きの質が高まる。また、吹き出しや視点に児童が立ち止まって自分で考えることができる工夫がされている。
音楽	音楽	「小学生のおんがく」 「小学生の音楽」 （教育芸術社）	○ 〔共通事項〕について、題材名や学習目標に示すと共に、学習活動文の中に明記し、どのような活動をすればよいのか分かるようにしている。 ○ 旋律線や図などの提示により、〔共通事項〕について具体的に理解できるようにしており、単に言葉を知るだけでなく、実際に表現したり鑑賞したりする活動を通して学ぶことができる。 ○ 1つの題材に貫かれる〔共通事項〕が明確で焦点を絞って設定している。また、各題材に歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞など複数の活動があり、それぞれ関連を図りながら学習を進めることによって、つきたい力を確実につける工夫がされている。

資料 4

教科	種目	採択教科書（発行者）	採択した主な理由
図画 工作	図画 工作	「ずがこうさく」 「図画工作」 （日本文教出版）	○ 造形活動に関心・意欲が高まるような活動事例が写真で具体的に記載されている。 ○ 発想や構想のヒントが吹き出しで示されており、児童が主体的に学習を進めていくことができる。 ○ 各学年の系統に配慮しながら、作品に対する児童の思いを鑑賞カードで紹介したり、美術館や地域社会とのつながりのある鑑賞教材を取り入れたりすることで、児童相互の交流を深め、発想や構想の能力を高めることができる。
家庭	家庭	「新編 新しい家庭」 （東京書籍）	○ 最初の学習で、家庭・家族とのかかわりを取り上げているほか、「生活に生かそう」という項目で、家族の生活と関連させている。また、学校や地域の特性を生かし、2年間を見通した弾力的な指導計画を作成できるように配慮されている。 ○ すべての題材を3ステップで構成し、学習の流れを明確にする工夫や、小題材ごとに「学習のめあて」を示し、児童が見通しをもって問題解決的に学習を進めやすい構成になっている。 ○ 教科書を見ながら活動することが可能な実習例を示して、自主的な活動を支援する工夫がある。専門家の知識や経験に触れるコーナーや「自由研究」ページで発展的な学習を進めることができる。
体育	保健	「新・みんなのほけん」 「新・みんなの保健」 （学研教育みらい）	○ 「話し合ってみよう」や「考えてみよう」の他に、「かつよう」のコーナーもほぼ毎時間設定されており、書き込みをすることで思考力や判断力を育て、生活の中でも実践していく態度につなげられるようになっている。 ○ 少し大きめの紙面を使い、学習活動に生かすための様々な資料が充実しており、豊かな言語活動につながる工夫がされている。 ○ 単元や各時間の学習内容が簡潔な文で示されており、見通しを持って学習を進めることができる。また、学習活動には「話し合ってみよう」「調べてみよう」などの具体的活動が示されており、学習の流れが分かりやすくなっている。学習のまとめでは、単元全体を振り返る工夫がされており、学習状況を自己評価できるようになっている。